

田原凧だより

第87号

2008. 2. 20

萩原匡峻選手は松の家さんのお孫さん。
昨秋の公式戦打率は.444の高打率
凧保存会にて応援バス確保いたします。
一緒に応援に行こう！



祝 成章高校野球部 甲子園出場！

第80回記念選抜高校野球大会に21世紀枠で成章高校野球部が出場することに決定しました。36年ぶりの快挙です。これは、我が田原凧保存会にとっても大変嬉しいことです。成章高校野球部センター：萩原匡峻選手は、萩原昭信会員のお孫さん。俊足&強肩を備えた強打者。凧保存会員の近所の生徒も出場します。甲子園での活躍が楽しみです。別途応援バスを募ります。

田原凧保存会は、鈴木田原市長、安田市議会議長が野球部を激励するに当たり、出場を祝う田原凧を制作しました。当日は、市長、議長から野球部員に田原の凧が贈られ、小凧は部員全員に贈られました。

成章高校が伝統のけんか凧のように、甲子園を上下左右に機敏に動き回り、優勝を目指して活躍することを期待しています。



【事務局】 田原まつり会館・熊金の館
田原市田原町稗田17
tel・fax 0531-23-0550
e-mail taharatako@aw.wakwak.com
発行責任者 太田 健

たこ 凧 あがれ！

凧保存会活動行事を 写真でご報告



保存会主催凧行事&各地の凧揚げ大会のご案内

(1) 第48回田原凧まつり：初凧募集中について

凧まつり 平成20年5月24日(土) 初凧 9時~受付 10時~ご祈祷
5月25日(日) けんか凧 9時~開会式
初凧募集 2/18現在 50枚申込あり。
絵師のみなさんが大変です。早めに申し込みください。
受付 保存会員が受付たものは、直接3役に渡してください。

2/25 生出演の予定が、録画に変更
放送は3/1(土)
午前7時30分から放送されます。

(2) NHK テレビ「おはよう東海」への生出演について

本番2/25
は、法被
着用のこと。

出演&放送日 平成20年2月25日(月) 7時34分~7時39分
場所&出演者 加治凧工房(代表=萩原武三)と凧揚げ(裏の畑)
初凧絵師=佐々木邦夫 凧揚げ=保存会員
事前打合せ 2/24(日) 15時30分 加治凧工房&裏の畑
リハーサル 2/25(月) 5時30分~7時30分 場所=同上

応援ツアーの受付は申込み
順といたします。参加者は
早めに幹事に連絡ください。

(3) センバツ高校野球大会 必勝! 応援バスツアー募集について

開幕日 平成20年3月22日(土)
抽選日 3月14日(金) 日時対戦相手決定!
応援バス 萩原家の関係者含め、凧保存会にてバス1台確保いたします。
約40名 費用等詳細は後日決定。
募集 試合日の決定(3/14)が遅くなりますが、現時点で参加できる会員は
早めにご連絡ください。
一次締切 平成20年3月9日(日) 最終締切 3月16日(日)
幹事 原田・鈴木裕

(4) 田原凧まつりの理事会&臨時総会の開催について

理事会 平成20年3月2日(日) 18時~
田原まつり会館:熊金の館
臨時総会 平成20年4月6日(日) 18時~
田原まつり会館:和室

けんか凧合戦参加チームは
必ず総会に出席し役割・注意
事項を確認ください。

(5) 米国:ケンタッキー州ジョージタウン・カイトフェスティバルについて

期日 平成20年4月17日(木)~4月22日(火)
募集 ただいま会員募集中!参加者は山下まで
幹事 山下(090-1980-6466)

ただいま10名前後
が参加予定です。
近々打合せを行ない
ます。

(6) 凧づくり教室&各地の凧大会のご案内

① 静岡県:第3回浜名湖ガーデンパーク凧揚げ大会

日時 平成20年3月2日(日) 10時~
場所 浜名湖ガーデンパーク
参加者 杉本・萩原昭・鈴木健・加藤要・鈴木裕

② 愛知凧連合親睦凧揚げ大会&心護杯全国凧揚げ大会打合せ

日時 平成20年4月29日(火:祭日) 10時~14時
場所 豊橋総合運動公園
主催 愛知凧連合(9組織)&豊橋凧保存会
打合せ 11時~12時 本部テント内にて
役員 松井会長・林・佐々木・加藤要・山下・今川・鈴木裕

全国大会の役員は
都合をつけ打合せに
出席ください。

田原凧の出会いと魅力を語る

その2 宮崎県の凧友：矢田部義彦氏
(新潟鳥凧の会：石垣支部)



石垣島・長崎で知った田原凧を本番で見ようと田原にやってきました。

会場の広場に着くとテントが張られ、幟も高々と何本も立てられ、その周辺では田原凧の皆さんが忙しく会場設営をされていた。

そこは「はなのき広場」と言われるところで、市街地にある公園の広さとしては標準的な広さであろうが、事情を知らない私は、道路を隔てたショッピングセンターの敷地建物よりは小さい広場で、今年の田原凧祭りの案内パンフレットには「100枚の初凧が大空に乱舞します。」と書いてあった。

果たしてどのように揚がるのか、不思議さと期待で広場を眺めていると、石垣島で知り合った岡田律雄氏に初凧祈願祭会場に案内された。会場に入ると沢山の初凧が飾られていた。凧の美しさは勿論ですが、その大きさにびっくりしました。

田原凧独特の横長が、小さい凧でも1メートル以上あり、大きな凧は2メートルを超える凧が合わせて108枚。過去最高の初凧だったそうで、祈願祭を終えた初凧揚げは、あの狭いはなのき広場から、次から次に揚がるのですから、その混乱振りを心配していました。

確かに多少は混乱する場面もありましたが、揚げ手は、10枚も15枚も揚がっている中を、風のタイミングと凧糸の間を縫うように、おじいちゃん、おばあちゃん、ご夫婦の一世代の思いを託されて、是が非でも揚げねばならぬと、田原凧の面目にかけての面々の思いが伝わって来ました。大空に次々に揚がる初凧に、おじいちゃん、おばあちゃん、ご夫婦の笑顔はご苦労をされて奮闘された、田原凧の皆さんへの御褒美ではなかったでしょうか。

この難しい初凧揚げを、機を見ては臨機応変に口上で、初凧揚げ順番待ちの方々の気持ちを和らげるユーモア、時には揚げ手に厳しい一言。観衆はマイクに乗った明るい声で良く解る解説口上は凧揚げを待つ方々や観客には、退屈させないどころか初凧揚げに参加する意義を大いに深くされたのではないのでしょうか。

喜びを乗せて高く高く舞い上がった初凧に幸あれと祈らずには居られない気持ちに引き込まれました。

矢田部さんの田原凧記「初凧の部」でした。次回は「けんか凧の部」となりますが、次の大会がもうすぐです。今年も矢田部さん参加お待ちしております。ありがとうございました。